令和元年度行政評価 事務事業評価シート（平成30年度実績）

事務事業コード	020103010	予算コード	01047400	従事人員（人）	投入コスト（千円）	評価	評価点	一次評価 B
事務事業名	学校開放事業			正規職員数 0.5	国庫支出金	有効性	B	地域のスポーツ活動の場として、学校体育施設の開放は有効に実施されている。今後も、市民との協働のもと、継続して実施されることが必要である。
担当課	教育総務課			嘱託職員数 0	府支出金			
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0.2	市債	効率性	A	
	■条例・規則			歳出（千円）	その他 5,313			
	泉佐野市立学校施設使用条例			人件費総額 4,588	一般財源 4,217	妥当性	B	
					減価償却費 0			
					事業費 4,942	受益者負担	A	
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円） 9,530		緊急性	B	事務事業実施内容
実施手法	全部委託			市民1人当りコスト（円） 95				体育館の建替えによる開放施設の追加と廃止等
対象				活動指標	H30実績	公的関与	A	
特定の団体		対象数	151	体育施設使用回数	6,503.0			
スポーツ団体等（登録団体）						実施主体・委託化	C	
事業の内容								
小・中学校（小学校13校、中学校5校）で学校教育に支障のないかぎり、住民が利用できるように学校教育施設（運動場、体育館）を社会教育の為開放する。						他の事務事業との関連	A	
				成果指標	H30実績	透明性	C	
				体育施設使用人数	117,461.0			
						財政健全化計画	該当なし	
						財政健全化の取組	該当なし	
				コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし	
事業の目的				利用者一人当たりの経費（フルコスト／体育施設使用人数）	81.0			
地域住民に対して社会教育施設として提供、生涯学習の促進を図る。								